

Communication Leaflet

vol.8



学部長より ～ 卒業生の皆さんへ ～

本年より、システム工学部長の任を拝命いたしました伊東千尋でございます。私は、1999年4月より精密物質学科で物理系の教育・研究を担当して参りました。現在、アクティブマテリアル研究室で環境の変化により分子の間の相互作用が変容して性質（物性）が変化する物質の開発とその基礎学理について研究をおこなっています。分子の性質はおかれた環境の変化や周囲の分子との関係が変わると、全く異なる性質を示すことがあります。このような分子の集合体としての物質のあり様は、個々の人が機能的に結びついて構成されている組織とある意味で類似性を持っていますので、システムや組織のあり方と機能について思い耽ることもたびたびです。

さて、システム工学部は卒業生の皆さんと教職員の努力により今日の姿を築いてきました。しかし他大学の工学部に比べますとまだ若い学部でもあり、学部のブランドイメージが十分確立できているとは言い難い面があります。システム工学部のブランドイメージ確立は、卒業生の皆さんにとってもシステム工学部に現在籍をおく学生教職員にとっても重要なことです。このために皆さんの力をお借りしたいと考えています。また、皆さんの社会でのスキルアップにつながる活動

（例えば社会人博士課程への入学や新技術の学び直し等）やシステム工学部をこれから卒業していく後輩の就職支援等を行っていく上で、皆さんとの絆の大切さを認識して関係の強化を図っていきたいと考えております。今後皆さんとの距離をいっそう縮めることができるようなしくみをつくっていきますのでご注目ください。

皆さんご承知の通り日本国の財政状況の悪化もあり、現在大学を取り巻く環境は大きく変化しています。昨年度民主党政権の下で策定された「大学改革実行プラン」の枠組みは自民党政権でも引き継がれ、今般、各国立大学各学部のミッション再定義が進められています。工学系学部には、特に社会が求める人材育成機能や研究機能の充実が求められており、産業界との意見交換を行うようにとの指導を受けています。歴史の浅いシステム工学部では、産業団体や地元自治体に加えて、学部の状況をよくご存知の身近な社会人である卒業生の皆さんにも意見を求め学部の将来像をつくりたいと考えております。今回のアンケートも含めて大学（学部）からお願いすることが出て参りますが、是非とも皆さんにご協力いただききたくお願いするところです。今後ともシステム工学部そして和歌山大学をご支援いただきたくお願いいたします。

システム工学部長 伊東 千尋

教員異動のお知らせ

この3月で、環境システム学科の本多友常教授が定年を迎えられました。また、光メカトロニクス学科の似内映之助教が産学連携・研究支援センターに異動されました。一方、10月には情報通信システム学科に風間一洋教授と天野敏之准教授が着任され、4月には環境システム学科に河崎昌之准教授が産学連携・研究支援センターから異動してこられました。

T O P I C S

本年5月30日、本多友常名誉教授らが「地域資産継承としての高野口小学校改修における一連の活動」で日本建築学会賞を受賞しました。建築学会賞は国内最高の建築賞とされている名誉ある賞です。この活動の出発点は、新築建て替えを覆した2001年の保存運動でした。様々な人々を巻き込んで進められた調査研究、市町村合併や予算減額によって幾度も変更した実施設計を経て、10年後の2011年3月に竣工しました。この10年間に多くの環境システムの学生が関わっており、その意味では卒業生の皆さんも受賞者と言えるでしょう。高野口小学校の威風堂々した正面玄関は、皆さんの想いをそこに留めながら、今後も残されて行くでしょう。

本多友常名誉教授の日本建築学会賞(業績)受賞



女子学生支援(リケジョ) 学部長と女性教員との座談会

博士前期課程2年生の2人と学部3年生の3人が参加し、学部長との座談会を行いました。学部3年生は研究室配属や研究テーマ、そして進路について考える時期にあり、今後の夢や目標について語り合いました。博士前期課程2年生の先輩たちはすでに内定をいただいていたこともあり、進路や就職活動に向けた試験や面接での対策といった具体的なアドバイスもいただきました。学部長の伊東先生からは、これからの社会において理工系女子が持つ視点や特性を生かし、様々な活躍の場があることをお話いただき、温かい励ましのお言葉をいただきました。なごやかな雰囲気の中、学生生活のことや身近な話題まで、いろいろな話題に話が広がり、今後についても考える機会になったのではないのでしょうか。

環境システム学科 准教授 宮川 智子



Computer and Communication Sciences

情報通信システム学科

今年度から学科長の任に

就いております。今年度は、これまで

学科の発展に多大な貢献をされてきた斎藤先生が

定年を迎えられ、またシステム工学部を再編すると

いうビッグイベントがあります。このような中でも、

より良い情報通信システムコースを目指して改革を続けて

参りますので、我々今後の研究・教育・社会貢献等での

活躍にご期待ください。また、今後ともご指導、

ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い

申し上げます。

(教授 呉 海元)

学科長より



研究室より



我々の身の回りに存在する

物の見かけは、物体固有の反射率だけではなく、

その物に照射される光の色に依存します。当研究室では、

物体に照射する光を緻密に制御することによって物の見え方を

自在に操る、見かけの制御技術を実現しました。現在はこの

見かけの制御を基盤技術として、物体の質感制御や陰影制御

による印刷媒体での新たな立体提示技術やアニメーション表示、

さらには全周囲ライトフィールド投影による質感提示技術の

研究に取り組んでいます。将来的には見かけの制御技術を

発展させ、目の前にさまざまな空間を瞬時に作り出す

ユビキタス情報投影型拡張現実空間の実現を

目標としています。

(准教授 天野 敏之)

Web空間の中の情報や構造、

人間の行動を分析して有用な情報を抽出する

ことで、情報探索行動の効率化に役立てるための研究を

行っています。本研究グループでは、特にTwitterやブログなどの

ソーシャルメディアにおける情報伝播現象に注目し、ソーシャル

ネットワークの情報伝播のネットワーク分析・時系列分析、情報伝播

モデル、情報信頼性判定などの研究を行っています。さらに、

東日本大震災時でソーシャルメディアが果たした役割を

明らかにすることで、将来的な災害情報支援に

役立てる研究もおこなっています。

(教授 風間 一洋)

研究室より



Opto-Mechatronics

光メカトロニクス学科

学科長より



赴任して2年目ながら学科長という大役を仰せつかっています。学科長の仕事の一つに学生諸氏の就職活動のサポートがあります。光メカトロニクス学科では概ね順調に内々定が決まりつつありますが、社会との真剣勝負という慣れない活動に苦慮する学生も多く、就職担当として一喜一憂する日々を過ごしています。卒業生の皆様には、社会での経験談と励ましの言葉を後輩学生にかけていただくことも含めて、是非和歌山大学をご訪問下さいますようお願いいたします。お待ちしております。

(教授 松本 正行)

研究室より ～光波テクノロジー研究室～

現在の研究テーマは、超解像
(栗山君からの継続)、特異位相ビーム応用
(足谷君からの流れ)、定量位相顕微鏡(最近より)、
低コヒーレンス干渉断層計測(似内先生)などです。M2が5名、
B4が11名。残念ながらM1はゼロ。
似内先生は、学内の産学連携・研究支援センターに准教授としてこの4月に異動されました。企業や自治体などの学外の人と学内の教職員を相手とした業務です。しかし、光メカ学生実験と卒研生・院生の研究指導を、センター業務を時間調整して引き続き担当していただいております。

沼田は何も変わっておりません(と思っています)。
たくさんのすべきことの交通整理がうまくできない
という相変わらずの状況です。

(教授 沼田 卓久)



2012年夏(尾地君が2006年にスタートさせた夏旅行。沼田は不在)

研究室より ～システム制御研究室～

災害救助を目的とした脚ロボットの開発に取り組んでいます。従来は都市部において倒壊した家屋を活動対象としていましたが、昨年度より浸水域を対象とした脚型レスキューロボット開発を開始しました。活動現場としての浸水域とは豪雨や土砂災害によって浸水した地域や地震による津波によって浸水した地域を想定しており、特に平成23年台風12号が紀伊半島にもたらしたような土砂災害の発生直前に観測機器を投入するシーンを想定しています。暴風雨下で空を飛ぶこともできず視界も悪い環境で「あと十数メートル先に観測機器を設置したい」要求をかなえるためのロボット開発を目指しています。

(助教 徳田 献一)



Material Science and Chemistry

精密物質学科

学科長より



卒業生の皆さん、こんにちは。本年度学科長の橋本です。動きの激しい社会にあって、いろいろと苦勞も多いと思いますが、皆さん社会で元気に活躍しているでしょうか。毎年何名かの卒業生がリクルータとして来ていますが、良い形で頑張っているのだと感じます。もっとたくさん来て欲しいとも思いますが・・・学科にとっての一期目（学部にとっては二期目）の学生だった人たちは、もう35歳。中堅と言って良い年齢ですね。時間がありましたら、是非現役の学生さんたちを

激励しに来てください。

学科では、この四月から中原先生が准教授に昇任されました。その一方で、今年度の木村先生を初め、向こう5年ほどで3名の先生方が定年を迎えられる予定で、学科の様子はガラリと変わってしまいます。それだけでなく、社会情勢の変化に対応して、学科・学部もこの先大きな変革を経験することになります。こうした時には、卒業生の皆さんの様々な形での協力および社会での活躍が大きな力となります。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、皆さんお元気で!

(教授 橋本 正人)

物理化学グループ近況

卒業生の皆さん、お久しぶり

です。物理化学グループの山門です。

当グループには、私以外には現在大学院研究生1名、大学院博士前期課程学生4名、卒研生3名の合計8名の学生が在籍しています。研究内容は、従来から行っている有機錯体結晶の実験的研究に加え、計算機を用いて「固体の結晶構造を多形を含めて予測すること」を目指して、2008年より学外の共同研究者(大野公一博士、前田理博士：2004年に超球面探索法を開発)とともに研究を始めています。分子性結晶も含めた固体一般について（例えばTTF-TCNQについて）、実際に結晶を作製してみる前に、どのような組成や結晶構造をとるかが予測できるようになればと思っています。

(准教授 山門 英雄)



研究室セミナーにて

ホスト・ゲスト化学シンポジウムを主催しました。



ポスター会場の一場面

2013年度はソフトマテリアル設計研究室と分析化学・機能有機材料研究室が世話役となり、5月25日(土)、26日(日)の2日間、システム工学部A棟の講義室を使用して、第10回ホスト・ゲスト化学シンポジウムが開催されました。本シンポジウムでは「分子認識」と「超分子」を中心とする、有機・無機・分析・高分子・生化学、生体関連化学、材料科学、超分子化学などに関わる研究者が集まり、博士課程の学生以上の研究者による口頭発表、学生を含む一般研究者のポスター発表の他、米国と国内からの招待講演と特別講演を中心に、本研究分野に関連する研究者間の情報交換を目的として、約150名の参加者を迎えて活発な議論が交わされました。

(教授 坂本 英文)

Environmental Systems

環境システム学科

学科長より



卒業生の皆さん、お元気ですか。それぞれの分野で存分にご活躍のことと思います。まずは学科の近況を伝えますと、15年の長きに渡り建築分野を支えられた本多友常先生が退官され名誉教授となられ、新たに産学連携・研究支援センターにおられた河崎昌之先生を准教授としてお迎えしました。新たな切り口で、学科を支えていただけると期待しております。

さて、新年度も数ヶ月が過ぎ、新米の学科長も少しは役目に慣れてきました。その目で学科を眺めると、徐々に変わろうとしていることがわかります。また、開業した大学前駅周辺では、急ピッチに大型店舗などの工事が進んでいます。これらを見がてら大学へ足を運び、社会と接点を持つ皆さんのご意見をお聞かせください。いつでも歓迎します。

(教授 高砂 正弘)

紀伊半島における災害対応力の強化



平成23年の東日本大震災と紀伊

半島大水害はこれまでの災害対策を根本から見直すきっかけになりました。つまり、これからの災害への対応は想定外の事態が起こりうることを想定したものでなければなりません。また、災害対応をより実効あるものとするためには、ハード対策とソフト対策を有機的に結び付けることが重要です。そこで、学内外の専門家20名以上で文理融合型のプロジェクトチームを作り、山間部が多く海岸線が長い紀伊半島に適した防災技術の開発や災害に強いまちづくりに関する研究を行っています。

現在は平成23年9月の台風12号豪雨災害を中心に、災害メカニズム解明と被害低減策の検討、災害時要援護者支援対策、応急仮設住宅の住環境改善、災害廃棄物対策などに関する研究を進めています。

(教授 江種 伸之)

研究室より

2013年4月、環境システム

学科に着任した河崎昌之です。専門は建築学、主たる関心事は建物の設計方法(デザイン)です。そして実は、これが二度目の着任となります。

最初はシステム工学部が開設して、まだ日が浅かった15年前。一期生と二期生を送り出した後、学内「産学

連携・研究支援センター」に移りました。そこで企業の方々と本学研究者の交流促進に10年余り携わる中で、社会で活動される卒業生・修了生にお会いすることが何度ありました。こうした経緯から、在学生はもとより、OB、OGの皆様との新しいアイデアの創出にも期待をしています。

(准教授 河崎 昌之)



Design and Information Sciences

デザイン情報学科

学科長より



恒例のDIP風景

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

デザイン情報学科の近況をご紹介します。

今年は新入生60名（男子：39名，女子：21名）と編入生3名を迎え、恒例になったDIPは今年も盛大に行われました。近年では、卒業生の弟さんや妹さんの入学も目立つようになってきました。これも卒業生の皆さんが、卒業後、活躍されておられる証であろうと教員一同喜んでおります。

昨年春に「和歌山大学前駅」が完成し、大阪方面からのアクセスがたいへんよくなりました。夏休みなどで帰省した際、出張や旅行で関西に来た際、もしお時間が許せば、指導教員や研究室の後輩を訪ねてみてください。

（教授 原田利宣）

2012年度卒業式 みんなで記念撮影！

昨年度の卒業式から、システム工学部同窓会と学生委員会が主催して、ささやかな卒業式イベントを始めました。デザイン情報の在校生が記念撮影用の卒業式パネルをデザインしてくれ、A棟ロビーに掲示するとともに、同窓会から軽食や飲み物を用意していただきました。各学科の卒業生と教員がロビーに集まり、思い出話に花が咲きました。最後にデザイン情報の卒業生と教員で記念撮影を行いました。卒業生だけでなく、教員にとっても思い出の一枚となりました。



卒業生と教員で思い出の記念撮影

宗森先生が情報処理学会フェローに選定されました！

宗森先生が、グループウェアの研究開発に対する貢献が認められ、情報処理学会の2012年度フェローに選定されました。

宗森先生は、知的創造作業支援グループウェアとその評価法や、モバイルグループウェアのエンタテインメントシステムを考案しました。また、情報処理学会論文誌の活性化やグループウェアとネットワーク研究会の活性化に対する貢献も評価されました。

6月5日の定時総会でのフェロー認証書の贈呈式にて



平成24年度 就職先

学部

(株)アートリフォーム、(株)I2C、(株)アグレックス、浅香工業(株)、旭化成ホームズ(株)、尼崎信用金庫、有田川町、イオンリテール(株)、岩出市、(株)インテック、(株)内田洋行ITソリューションズ西日本、(株)ACNモバイル、(株)エクセディ、エスペック(株)、NRIネットコム(株)、(株)エヌ・ティ・ティ ネオメイト、(株)オージス総研、(株)大林組、(株)オービック、小野薬品工業(株)、(株)オリエントコーポレーション、海南市、カゴヤ・ジャパン(株)、カトーレック(株)、川崎重工業(株)、関電システムソリューションズ(株)、紀の国住宅(株)、キャノン(株)、紀陽情報システム(株)、(株)協和エクシオ、近畿管区警察局、近鉄ケーブルネットワーク(株)、(株)五大オーエー、コベルコシステム(株)、(株)コムニック、コモライフ(株)、(株)サイバーリンクス、(株)さくらケーシーエス、山九(株)、(株)JSOL、自衛隊、(株)システムキューブ、システムズ・デザイン(株)、(株)島精機製作所、(株)情報企画、宗教法人真如苑、住友林業緑化(株)、積水ハウス(株)、(株)ゼロ・コーポレーション、(株)ゼンショーホールディングス、(株)ソフトウェア・サービス、ダイキン工業(株)、大伸クリエ(株)、大和エネルギー(株)、タカラスタンダード(株)、匠技研(株)、(株)立花エレテック、(株)椿本チエイン、(株)DNP情報システム、ティーオーエー(株)、(株)TDモバイル、帝人フロンティア(株)、寺崎電気産業(株)、(株)東海理化電機製作所、(株)東光コンサルタンツ、東洋検査工業(株)、(株)トヨタコミュニケーションシステムズ、トランスコスモス(株)、中島工業(株)、西日本電気テック(株)、(株)ニトリ、(株)日本総合研究所、(株)日本ハイソフト、任天堂(株)、(株)長谷工コーポレーション、林テレンプ(株)、(株)日立システムズ、(株)日立ソリューションズ、富士ゼロックス大阪(株)、古林紙工(株)、(株)プレミアムエージェンシー、ホシデン(株)、(株)ホテルニューアワジ、本田技研工業(株)、前田建設工業(株)、松原市、萬世電機(株)、(株)万立、(有)水谷ローラー、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)明光、(株)メイテック、(株)メイワ、メルココントロールパネルアンドコンポーネント(株)、八尾市、(株)山善、ヤマハモーターエレクトロニクス(株)、ユニチカ(株)、(株)ユニマットそよ風、(株)淀川製鋼所、(株)LIXIL、(株)リニカル、(株)リンクレア、レイシスソフトウェアサービス(株)、YKK AP(株)、和歌山県、(一社)和歌山県医師会、和歌山市

博士前期

アークレイ(株)、iCAD(株)、IDEC(株)、(株)アクシオ、浅井謙建築研究所(株)、あさかわシステムズ(株)、アズビル(株)、(株)アック、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)インターネットイニシアティブ、(株)インテージ、ウシオ電機(株)、(株)浦辺設計、(株)エスキュービズム、NECシステムテクノロジー(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、(株)NTTデータMSE、(株)エヌ・ティ・ティ・データ中国、(株)エム・イー・エス由良、エムオーテックス(株)、大阪府警察、大阪府立工科高等学校、(株)大林組、(株)岡村製作所、オムロン(株)、(株)カクダイ、笠野興産(株)、貴志川工業(株)、紀陽情報システム(株)、京セラドキュメントソリューションズ(株)、クボタ環境サービス(株)、グリー(株)、(株)栗本鐵工所、グローリー(株)、KBセーレン(株)、(株)構造計画研究所、国土建設(株)、(株)コナミデジタルエンタテインメント、(株)JSOL、(株)ジェイテクト、(株)ジェイテック、(株)シティ・コム、(株)シマノ、sky(株)、(株)図研、スズキ(株)、(株)住軽日軽エンジニアリング、住吉鋼管(株)、(株)摂津金属工業所、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント、ソフトバンクモバイル(株)、タイガー魔法瓶(株)、ダイソー(株)、大日本スクリーン製造(株)、太陽精機(株)、(株)タマディック、中央復建コンサルタンツ(株)、(株)椿本チエイン、TIS(株)、(株)デジタル、テバ製薬(株)、デンソーテクノ(株)、東洋ゴム工業(株)、東洋検査工業(株)、TOWA(株)、凸版印刷(株)、(株)豊田自動織機、トランスコスモス(株)、(株)ナガセ、南海電気鉄道(株)、(株)ニコン、(株)ニッセイコム、日鉄住金プラント(株)、日本情報通信(株)、日本電産(株)、日本電産シンポ(株)、任天堂(株)、社会福祉法人白寿会、(株)パトライト、浜松ホトニクス(株)、日立造船(株)、(株)日立ソリューションズ、(株)日立テクニカルコミュニケーションズ、(株)ビットセラー、(株)ヒューテック・オリジン、平田建築設計(株)、(株)フォーラムエンジニアリング、福山製紙(株)、富士通フロンテック(株)、富士フイルムソフトウェア(株)、古河AS(株)、三菱自動車工業(株)、三菱電機(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機システムサービス(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、三菱電機マイコン機器ソフトウェア(株)、(株)メイテック、矢崎総業(株)、ヤフー(株)、ヤンマーグリーンシステム(株)、(株)湯山製作所、(株)よしみね、四日市市、ライトケミカル工業(株)、(株)レクシア、(株)ワークスメディア、(株)ワールドインテック R&D事業部、和歌山県、和歌山市、和歌山精化工業(株)、和歌山石油精製(株)

ご案内

住所等連絡先、勤務先、氏名の変更等ありましたら、「同窓会ホームページ」→「連絡先変更」からご連絡ください。
システム工学部 同窓会ホームページ (<http://wadaisys-dousou.net/>)

和歌山大学システム工学部同窓会

検索

和歌山大学システム工学部

Communication Leaflet Vol.8 (2013.8.1 発行)

■連絡先

和歌山大学システム工学部 / システム工学部同窓会
〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930
TEL 073-457-8005
E-mail alumni.sys@g.wakayama-u.jp
URL <http://wadaisys-dousou.net/>

■編集 和歌山大学システム工学部教育・研究・技術支援室